

# 6月議会楠田大蔵市長 冒頭あいさつ

令和2年第2回太宰府市議会定例会初日の5月29日(金)に、楠田市長が議会開会にあたりあいさつを述べました。



まずもちまして、議員各位、市民の皆さまには、本市新型コロナウイルス対策に多大なるご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今までのところ市内感染判明者は3名にとどまり、いづれも回復されております。人口比や入り込み数から致しましても比較的少数にとどまっております。対策は一定程度功を奏したと考えております。

そうした中、5月14日に福岡県における緊急事態宣言が解除され、先日全国でも解除されました。本市においても6月1日から小中学校の通常登校を再開するなど日常が取り戻されつつあります。

ただし、北九州市においてここ数日立て続けに感染者が判明するなど第二波第三波も懸念される所であり、今後も新しい生活様式を取り入れるなど対策を続けて参りたいと思っております。

一方、国際観光都市であり令和発祥の都ともなりました本市の影響は計り知れないものがございます。令和ブームに沸いた昨年4月同月比で観光客が96%減と壊滅的な数字

**1億円歳出カット**  
三役給与カット(約170万円)  
市長車廃止(約1000万円)  
市議会公務費削減(約450万円) など

を記録致しました。

全国随一と言っても過言ではないくらい厳しい状況下で、あえて休業にご協力いただいた参道の方々をはじめ多くの事業者、また市民の皆さまに今こそお役に立たなければとの思いであります。

そうした思いで、人口7万人余りの本市にとってはかなり大きなボリュームとなります7億円規模の独自支援策を発表し、5億円もの基金を取り崩す重い決断を致しました。

一方で、現時点での国からの臨時交付金はその半分弱にとどまっており、この際思い切った身を切る改革に踏み込まなければならぬとの強い思いで、1億円余りの歳出

カットを断行致します。

まず隗より始めよとの思いで、市長車制度を廃止するなど諸経費を大きく抑制し、議員各位のご協力もいただき公務費用を削減、また苦渋の決断ですが、敬老会関係費用なども削減をさせていただきます。

なお、公共事業などにつきましても、新型コロナウイルスの影響で傷ついた地域経済の今後の浮揚のためにあえて削減せず、V字回復につなげたいと考えております。

また、今後の第二波第三波にも備え、子どもたちの学びの保証を確かなものとするためにも、一人一台パソコン完備とネットワーク環境の整備の実現に踏み出します。

次に、新型コロナウイルスのリスクの最前線で献身的に業務に従事しておられる方々に感謝と応援のメッセージを届けるため、市内医科・歯科・薬局に対してクオカードなど3万円分を支給します。

次に、急激に厳しさを増す雇用環境の中で、2月より進めておりました就職氷河期世代の職員採用を5名程度の予

定からあえて今回倍の10名を積極採用する事といたしました。

このうち市内在住もしくは出身者が半数、非正規や離職中の方が半数、その他の方も氷河期世代らしいさまざまな挫折を経験した方々を優先して採用いたしました。

こうした事態下でこそ、そうした挫折から立ち直った経験を活かし、本市の苦境を共に救う仲間になればと思っております。7月1日採用予定であります。

また、会計年度任用職員の雇用も20名行う予定です。本市は多くの大学、短大が所在する学生の街でもありますので、アルバイト収入が激減している学生の雇用も積極的に

**小中学生1人1台  
パソコン完備!**  
(約2億7200万円)

れる昨年代表校筑陽学園の球児や休校でさまざまストレスを抱えた本市の子どもたちに向けた激励メッセージをいただきました。

そして太宰府にゆかりのある歌手の広瀬香美さんからは30秒動画を、タレントのゴリけんさんからは感染の体験記と注意喚起のメッセージをいただいております。

それぞれホームページや市報などで積極的にお知らせし、さまざま被害を受けた市民の皆さまの元氣を取り戻し、市のV字回復につなげていければと考えております。

今後も、国、県、その他関係各位と緊密に連携、協力を図りながら、新型コロナウイルス対策と被害の克服のために先頭に立つて私の持ちうる力の全てを出し尽くしてまいります。

本市がこの危機を乗り越え、令和発祥の都としての本来の輝きを取り戻し、力強いV字回復を遂げられるよう、議員各位、市民の皆さまのご理解ご協力を引き続きお願い申し上げます。

割、副市長が2割、教育長が1割をそれぞれ3カ月減給することといたしました。二度とこのようなことがないよう再発防止に努めてまいります。

給付作業については、5月13日に全3万通余りを郵便局に持ち込み、5月21日にマイナンバー分約800世帯、5月28日に郵送分を含む約400世帯分の給付を行うなど順調に進めております。

最大30万円のがんばろう令和支援金であります。国・県の交付決定を待たずに申請できるようにするなど柔軟な対応を心がけており、既に5月20日に第1回目の振込60件を完了しております。

次に、子どもたちへの千円

分の図書カード配布ですが、手書きメッセージを付け、小中学生6千582人への配布、未就学児3千854人への配送を既完了しております。

次に、妊娠中の方への応援キット配布につきましては、妊婦さん約400人を対象にこうしたカタログギフト5千円分と3層不織布マスク5枚を6月中に郵送する予定としております。

また、感染リスクを抱えながら作業いただいているごみ収集業者の方々への物資配布につきましては、マスクやアルコール消毒液の提供による支援を進めております。

次に、筑紫食品衛生協会の皆様からご提供いただきました手指消毒液500ℓを、5月24日曜日(市役所)において約250人の市民の皆さまにご提供させていただきました。

ふるさと納税クラウドファンディング「太宰府Downtown Familyファンド」につきましては、目標1千万円のところ現時点で160万円余りの寄附をいただいております。

また、5月15日から市役所

**緊急雇用対策**  
①就職氷河期世代採用  
②大学生や失業者向け  
①10名/②20名  
合計30名

1階でマスク寄附箱に寄附を呼びかけいたしましたところ、現時点で3千枚余りもの寄附をいただきました。いづれも大切に活用させていただきます。

最後に、太宰府市にゆかりのある方や私自身親交のある方から太宰府市民の皆さまに思い思いのメッセージを頂戴しておりますので、ご紹介させていただきます。

元号「令和」の考案者として、2月に本市にお迎えする予定でした中西進先生からは太宰府の誇りと勇気を呼び起こしていただけるような手書きのメッセージをいただいております。

棋士羽生善治さんからは、甲子園が中止となり悲嘆に暮

推進するつもりであります。

また、本年10月に予定しております福岡では半世紀ぶりとなる第55回全国史跡整備市町村協議会太宰府大会の今年度開催を断念することいたしました。

私が就任当初から誘致活動を続け、来年3月の大宰府政庁跡史跡指定100年に弾みをつける意味でも期待しておりますので痛恨の極みでありませんが、今後来年以降の開催の可能性を探ってまいります。

また、本市の支援策や国の給付の執行状況についてであります。既に報道もされましたように、特別定額給付金の給付作業において個人情報の一部流出するという事態が起きました。

市民の皆さまにご心配ご迷惑をおかけしたことは猛省しなければなりません。一日も早い給付を実現すべくゴールデンウィークも返上し頑張ってくれていた職員を責めるわけにはいかないと考えております。

ここは率先垂範三役が監督責任を取り、私が給与の3

**市内約120の  
医科・歯科・薬局に  
クオカード等  
3万円分  
(360万円)**